

第28回病診連携委員会要録

日 時 平成24年1月30日（月） 午後7時30分
場 所 浪速区医師会 会議室
出席者 浪速区医師会 : 6名
愛染橋病院 : 2名
大野記念病院 : 3名
多根総合病院 : 1名
富永病院 : 2名
浪速生野病院 : 3名
南医師会 : 1名
大和中央病院 : 1名
ブルーカード事務局準備室 : 1名
浪速区医師会事務局 : 1名

今回の委員会には、西成区にある大和中央病院が参加された。病診連携委員会とブルーカードの実際を確認して前向きに可能な協力をしていきたいという意向をいただいた。

議 題

1. 第27回病診連携委員会報告について

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

2. ブルーカード事例検討について

事務局より、今後いろいろな形でブルーカード連携病院として参加の名乗りを上げる病院が出てきた場合は、必ず病診連携委員会での参加承認が必要かどうかの確認があった。

今回参加しているすべての連携病院が、参加承認は事務局で判断し報告は事後でよいことに賛成した。

3. 病診連携委員会のアンケート結果について

(1) ブルーカードシステムの今後の方向性の優先順位について

最優先課題としては、登録診療所と連携病院を増やす方向性を支持する意見と受け入れが最も困難な精神疾患合併症例の対策に力を入れることを支持する意見の二つに分かれた。発表、投稿でブルーカードの存在を広く周知させていくなどの登録診療所と連携病院を増やすための様々な働きかけを行っていくことが確認された。澤病院の協力を得るための薬剤情報対策、GPnet（一般内科医・精神科医ネットワーク）との提携など精神疾患対策も重点的に取り組むこととなった。認知症合併患者は、ブルーカード登録されていてもどこにカードが置いてあるのかわからなくなることがあり保管場所を統一することも今後の検討課題として提案された。

(2) 病診連携員会で今後協議すべき議題について

ブルーカード以外にシンクネルを利用した情報共有ネットワークを考える、クリニカルパスや退院支援システムを検討する、重複する検査や投薬を減らし無駄な医療費を減らす、介護事業所との連携の場として利用するなどの意見が出され、これらも今後の議題として検討していくこととなった。

4. 南医師会 川端先生からの報告について

南医師会のブルーカード登録医を対象に参加してほしい病院のアンケート調査を行ったことが報告された。具体的な結果を集計しているものの、各病院にアンケートの主旨を伝えてからこの委員会で公表したいとの意向が伝えられた。久保田議長より、各病院にアンケートの主旨を伝える際には是非二次病院としての登録なら堅苦しいものではないことを呼びかけて参加を促してほしいとの提案があった。

5. 連携病院のブルーカード制度の再確認について

ブルーカードシステムでは、選択病院がいろいろな事情でブルーカードを持参した患者を受け入れられない場合は、可能な限り連携病院間で受け入れが可能かどうかを確認してもらうことになっている。連携病院に受け入れ確認することなく、救急隊に連絡している症例があるので、病院内での制度の確認をしてほしいと久保田議長より確認があった。また、断った理由を使用状況報告書に記載していただく必要があることも徹底してほしいと説明された。浪速生野病院から、当直帯はほとんど非常勤医師なので十分に連絡が行きわたらない実情が説明された。浪速生野病院は一次病院というスタートの位置にあるため、病院内のシステム作りを積極的に検討してほしいと久保田議長より依頼があった。

大和中央病院がブルーカードへ参加することの決議が行われ、満場一致で承認された。

6. ブルーカードアプリの進捗状況について

現在ブルーカードアプリを使えばiPadでブルーカードが作成できるようになっている。しかし、このアプリを実際に使用できるようにするために今後は開発費用が発生する。これからシンクネルと費用についての交渉が始まる予定である。

また作成したブルーカードを保存したり、アップするのに、直接シンクネルへアップするのが困難なため、現時点ではメールを使用する必要がありセキュリティーに問題がある。現時点では、スナップショットの機能を使ってiPad内にJPEGデータとして保存し、iFax ProでFaxとして自分の施設へ送ることが検討されている。iFax Proは国際Fax扱いなので、NTTコミュニケーションに加入しiFaxを使用すれば安価に済ませることも可能であると事務局から説明があった。

7. その他

久保田議長よりiPadのみでブルーカードシステムに参加している施設に役立つアイテムとしてスキャナから直接iPadへ取り込める商品があることが紹介された。

春の委員会で大阪市消防局の松野係長を招へいして搬送20分以上の症例検討を計画していることが報告された。

現時点でのブルーカードの登録件数は、浪速区263件と他地区より28件の合計291件、12月と1月の稼働件数は合計16件と事務局より報告があった。